

9、10P

律令国家の形成

東アジアと大和政権との関係

物部氏→神道

蘇我氏→渡来人と結ぶ、仏教の受容に熱心

589年 隋の建国

587年 蘇我馬子(大臣)、物部守屋(大連)を滅ぼす

推古天皇－聖徳太子

「推古朝関係略年表」

603年 冠位十二階

604年 憲法十七条

仏教精神が色濃く入っている

資料3の1

607年 遣隋使→小野妹子

資料4の2

答礼使が来る

従来の朝貢関係を対等関係にしようとする。

618年 唐の建国

630年 遣唐使→犬上御田鍬

中国の政治、文化を持ち帰る

中央集権国家＝律令制度

608年に派遣されたものが640年に帰ってくるとは…。

当時、豪族を中心とした国家

→留学生らを中心に、中央集権国家への意識が高まる

→大化改新へとつながる

642年 蘇我入鹿が国政を担当

645年 中大兄皇子と中臣鎌足、蘇我入鹿を殺害

天皇や王族中心の政権樹立へ

646年 改新の詔

「公地公民制」

資料4の2

律令国家への意識

朝鮮半島の統一

660年 唐、新羅が百済を滅ぼす

663年 白村江の戦いで大敗
667年 近江大津宮遷都
668年 高句麗が滅ぶ
672年 壬申の乱→後継者争い
大海人王子(弟)の勝利
律令国家への形成が進む

684年 八色の姓
氏姓制度再編
694年 藤原京遷都
中国の都城制に倣う
701年 大宝律令の制定

11P

律令制度とは

律－刑法(罰則)

令－行政組織(きまり)

行政区画

中央－畿内

地方－七つの道、国、郡、里

律令の官制

中央－二官八省一台五衛府

地方

13P

民衆の負担

税制

唐の均田制をまねる

物納

労働

雑税

租－土地税

班田収受法の基本

土地－口分田

12P

身分制度

良民－6歳以上の男女
賤民－五色の賤

戸籍－6年ごと 班年
計帳－課税台帳(毎年作成)

律令国家の充実
奈良時代
701年 平城京 約10万人の人口

12P
本朝十二銭 富本銭
あまり流通せず
711年 蓄銭叙位令
資料6の2

13P
藤原氏の政界進出
「政局の変遷」
「政局をめぐる諸事件」
藤原不比等
長屋王の変

聖武天皇
仏教中心の政治
「鎮護国家」の思想
→政治の混乱

道鏡
太政大臣禪師
法王
→僧侶政治

仏教色が強くなってしまった奈良から、京都へ都を移す

13P、資料6の2と3
土地制度
722年 百万町歩開墾計画
723年 三世一身の法
743年 墾田永年私財法

→私有地(荘園)の発生

桓武天皇の事業

資料6の3

805年 徳政論争

蝦夷平定のための軍事
都の造営

784年 長岡京遷都

785年 藤原種継の暗殺

794年 山背国→山城国
平安京遷都

13-A

「令外の官の設置」

征夷大將軍、勘解由使など

蔵人頭

藤原冬嗣ら

資料7の4

「健児の制」

軍団に郡司、有力農民の子弟を使う

→十分な効果はなかったようだ

院宮王臣家

天皇と親しい少数貴族・皇族

「藤原北家と皇室との関係」

嵯峨天皇と藤原冬嗣から

→外戚関係を作っていく(天皇の外祖父)

摂関政治へ

13-B

「藤原北家の発展と摂関政治」

「摂関政治の機構図」

資料7の1

「摂政関白の設置」

資料8の1

「藤原道長の栄華」

資料 8 の 1

「遣唐使の廃止」

984年 遣唐大使に菅原道真任命

13-D

「浄土教の発展」

天台宗、真言宗の俗化

末法思想

社会不安の増大

→来世の幸福を期待

13-B

「地方政治の乱れ」

藤原氏に占められた中央政界から、中・下級貴族は国司に

成功→仕事を請け負って、官職に任命してもらう

重任→収入の多い官職に再任してもらう

→国司任命の不透明さ

遙任国司→目代(代理人)を派遣

受領→任国へ行く

資料 8 の 2

「尾張国郡司百姓等解」(尾張国解文)

13-D

武士の誕生

桓武平氏

清和源氏

藤原氏の経済力削減の動き

「諸国の武士団」

935年～940年 平将門の乱(新皇と称す)

939年～941年 藤原純友の乱

→あわせて「承平天慶の乱」

平定に武士の力が必要だった

治安維持のために、追捕使、押領使となる。

武士→国の兵→中央進出、政権掌握

1 3 - E

「源平両氏の成長過程」

「前九年・後三年の役」

1 4

「保元・平治の乱」

1 3 - C

「おもな荘園整理令」

藤原氏の経済力基盤を削減しようという意図

実際の荘園からの収入は？

「寄進地系荘園の構造と権利」

資料 9 の 1

「荘園寄進の例」

1 3 - E

院政 約 100 年間 (1086 年～ 1179 年)

「院政関係略年表」

→退位した天皇＝太上天皇

天皇から、権力を分けた

摂関家と院の勢力争い

仏教への帰依・保護

出家→法皇

寺院の造営→六勝寺

費用は売位売官や荘園から工面

武力として北面の武士←平家の食い込み

平家の政界進出

藤原氏と同じ外戚関係を使う

資料 1 0 の 4

「平氏の繁栄」

日宋(南宋) 貿易

神戸港＝大輪田泊

瀬戸内海航路の整備

1167 年 清盛、太政大臣に

1179 年 清盛、院政停止。法皇を鳥羽殿に幽閉

1180 年 清盛、安徳天皇擁立。福原遷都。源頼朝、鎌倉入り。

1185 年 平家滅亡